

第 29 回基礎及び最新の分析化学講習会

ー現場での分析化学最前線ー

本年度の「基礎及び最新の分析化学講習会」を、「現場での分析化学最前線」というサブタイトルを冠して開催します。「現場」と言う言葉の捉え方は色々ですが、ここでは「実用」をキーワードとした講習会を企画しました。実用高分子・有機・無機材料の分析に携わっている方や、企業において分析化学業務に従事されている方を講師陣に招き、単なる手法や原理の紹介に留まらず、事例紹介や分析におけるノウハウ・コツなども紹介します。分野を横断して幅広い話題に触れる機会を提供致しますので、ご活用いただければ幸いです。

主 催： 公益社団法人日本分析化学会中部支部

共 催： 中部大学 応用生物学部

協 賛： 日本分析化学会高分子分析研究懇談会，日本金属学会東海支部，日本鉄鋼協会東海支部，日本化学会東海支部，化学工学会東海支部，高分子学会東海支部，色材協会中部支部，触媒学会西日本支部，繊維学会東海支部，電気化学会東海支部，日本原子力学会中部支部，日本ゴム協会東海支部，日本接着学会中部支部，日本セラミックス協会東海支部，日本繊維機械学会東海支部，日本農芸化学会中部支部，日本防錆技術協会中部支部，日本薬学会東海支部，日本油化学会東海支部，表面技術協会中部支部，有機合成化学協会東海支部，東海化学工業会，愛知工研協会

日 時： 2019 年 12 月 10 日（火）

場 所： 中部大学 名古屋キャンパス 6 階ホール

〔〒460-0012 愛知県名古屋市中区千代田 5-14-22〕

JR 中央本線「鶴舞」駅名大病院口（北口）下車すぐ

地下鉄「鶴舞」駅下車北へ約 100 メートル

***前日 12 月 9 日（月）には、連動企画である愛知地区講演会を同じサブタイトル「現場での分析化学最前線」の下で同会場にて開催します（参加費無料）。是非ご参加下さい。**

内 容：

- | | | |
|-------------|--------------------------------------|-----------------|
| 09:50-10:50 | 分解反応を利用する不溶性架橋高分子の分析 | 大谷 肇（名工大） |
| 11:00-12:00 | 質量分析を用いた微生物分類について | 角出泰造（メニコン） |
| 13:00-13:30 | 定性分析において試料汚染が分析結果に与える影響 | 山田麻紀（ユニケミー） |
| 13:30-14:00 | PFOS/PFOA（難分解性有機フッ素化合物界面活性剤）に関する分析事例 | 小笠原 英城（東海テクノ） |
| 14:05-14:35 | LC によるポリマー分析 | 香川信之（東ソー分析センター） |
| 14:40-15:40 | 自動車用有機材料の分析 — 課題解決のアプローチ方法 — | 須藤栄一（豊田中研） |
| 15:50-16:50 | 法化学分析における多変量解析の適用 | 奥山修司（愛知県警） |
| 17:00-18:30 | 交流会 | |

参加費：

分析化学会会員・共催（一般）	6,000 円
協賛学協会会員（一般）	7,000 円
非会員（一般）	10,000 円
主催・共催・協賛学協会（学生）	1,000 円
非会員（学生）	2,000 円
交流会参加費	3,000 円

申込方法：日本分析化学会中部支部のホームページ（<http://www.jsac.or.jp/~chubu/>）に掲載されている申込用のエクセルファイルデータをダウンロードし，必要事項をご記入の上，E-mail にて yishida@isc.chubu.ac.jp 宛に送信ください。おって入金方法をお知らせ致します。

申込締切：11 月 22 日（金），申込多数の場合はこれ以前に締切ることがあります。

申込・問合先：中部大学 応用生物学部 応用生物化学科 石田 康行

E-mail: yishida@isc.chubu.ac.jp

電話 0568-51-6324

＊連動企画「愛知地区講演会 -現場での分析化学最前線-」の内容

主 催：日本分析化学会中部支部

日 時：2019 年 12 月 9 日(月) 13 時 20 分～16 時 40 分

会 場：中部大学名古屋キャンパス 6 階 610 講義室

講 演：

1. イオンモビリティー高分解能質量分析法を用いた合成高分子の分析

(名古屋工業大学) 北川 慎也

2. 電子顕微鏡で観るミクロの世界 ～液体から固体まで～

(カネカテクノロジー) 藤本 亜由美

3. 機能性部材の問題解決に向けた総合分析

(東レリサーチセンター) 佐藤 信之

参加費：無 料